

# 各種手当の状況は？

勧告などに基づいて、改定を進めていきます

給料のほか、扶養手当や、民間の賞与に当たる期末・勤勉手当などが支給されます。退職手当は、退職時の給料月額に、勤続年数と退職理由に応じて定められた支給率を掛けて算出されます。

## 近年の主な改定（例）

- 調整手当** 6%から3%に引き下げ
- 扶養手当** 配偶者分について、14年度2,000円引き下げ。今年度も1,000円引き下げの勧告
- 期末・勤勉手当** 11年度からの4年で5.25月分から4.65月分へ引き下げ。今年度は4.4月分へ引き下げの勧告

# 職員数は多い？少ない？

人口比の職員数は政令市で最も少なくなっています

各都市に共通する一般行政部門の人口十万人当たりの職員数は、四百九人となっております。政令指定都市の中で最も少なくなっています。

平成十年度から十四年度の五年間で取り組んだ行財政改革推進計画では、目標の5%を超える9.7%の職員数削減を達成しました。十五年度も引き続き職員数の抑制を行っており、この見直しにより生み出した人員で、新たな行政需要に対応しています。今年四月現在の総職員数は昨年に比べ、さらに四百三人削減し、新たな増分を差し引くと三百四人の減になっています。

## ●職員に支給されている手当

(平成15年4月1日現在)

区分	内容
扶養手当	扶養親族のある職員に支給。配偶者15,800円。配偶者以外の扶養親族2人までは1人6,000円。3人目から1人5,200円。満16歳～22歳の子1人につき5,000円を加算。
調整手当	物価水準などが高い都市部の地域に勤務する職員に支給。市内の場合、給料、扶養手当、管理職手当の合計額の3%。
時間外勤務・休日勤務手当	正規の勤務時間を超えて勤務した職員と休日に勤務した職員に支給。14年度の平均支給月額は36,690円。
住居手当	住居費用を負担している職員に支給。借家などの場合は27,000円を限度に支給。自宅の場合は9,700円を支給。
期末・勤勉手当	給料月額に扶養手当と調整手当、および職務上の段階、職務の級などによる加算額を加えた合計額を基礎額とし、これに年間で4.65月分を乗じた額を支給。
特殊勤務手当	危険、不快、不健康などの特殊な勤務に従事する職員に支給(例：清掃等作業手当、斎場等業務手当など)。14年度の支給対象職員の平均支給月額は14,530円。
寒冷地手当	世帯区分、扶養親族の数に応じ、基準額として59,200～163,700円、加算額として灯油2,000ℓ以下分に相当する金額を支給。

注：ほかに、通勤手当、単身赴任手当、宿日直手当、管理職手当(課長以上)などがあります。また、調整手当については、支給割合の引き下げに伴う経過措置を実施しています。

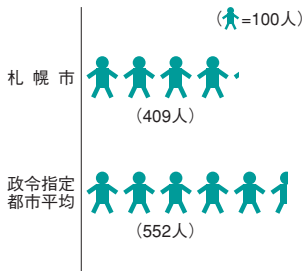
## ●退職手当の状況

(平成15年4月1日現在)

区分	札幌市		国	
	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年
支給率	勤続20年	21.0月分	21.0月分	28.875月分
	勤続25年	33.75月分	33.75月分	44.55月分
	勤続35年	47.5月分	62.7月分	47.5月分

注：定年前に退職した職員には、勤続年数に応じて退職手当の算定の基礎となる給料月額を4～20%加算する措置があります(国は2～20%加算)。また、長期にわたり勤続した職員は、退職時に1号俵昇給します(国も1号俵)。

## ●人口10万人当たりの職員数(一般行政部門)



## 特別職の給与

市長や助役、市議会議員などの特別職の給料・報酬月額は、以下の通りです。  
金額については、平成4年度から据え置きになっています。

(平成15年4月1日現在)

給料月額	市長	1,280,000円
	助役	1,030,000円
	収入役	870,000円
報酬月額	議長	1,040,000円
	副議長	950,000円
	議員	860,000円

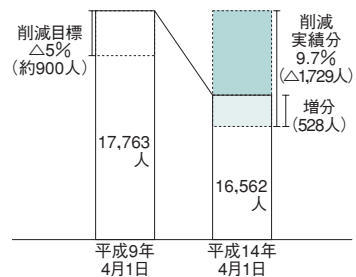
※期末手当は、年間で3.50月分

## ●部門別職員数の状況

部門	職員数		前年度比
	平成14年	平成15年	
一般行政	7,512人	7,507人	▲5人
教育・消防	4,481人	4,390人	▲91人
公営企業等	4,569人	4,361人	▲208人
計	16,562人	16,258人	▲304人

- 1) 一般行政には、税務、保健福祉、土木など、公営企業等には病院、水道、交通などの職員が含まれます。
- 2) 職員数は、臨時職員、非常勤職員などを除き、休職者、派遣者を含んだ数です。
- 3) 主な減少理由は土木建築工事の減、給食調理業務の委託、交通事業の見直しなど。

## ●行財政改革推進計画



## ●初任給(一般行政職)

(平成15年4月1日現在)

区分	札幌市		国		
	初任給	2年経過日	初任給	2年経過日	
一般行政職	大学卒	178,700円	193,600円	I種 180,900円 II種 171,500円	200,200円 185,600円
	高校卒	144,200円	155,200円	139,500円	149,200円

注：国家公務員の大学卒は、採用試験の区分によりI種とII種とに分かれています。

## ●経験年数別平均給料月額

(平成15年4月1日現在)

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
行一	289,930円	358,843円	402,713円
政職般	234,315円	297,214円	350,889円

注：経験年数とは、学校卒業後直ちに市職員として採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいい、採用前に民間などの経歴がある場合は、その経験を加えた年数をいいます。



平均給料月額  
365,373円  
平均43歳5カ月